

beanstalk Snow

リフレケア通信 127号

2019年12月 雪印ビーンスターク株式会社
ライフサイエンス事業部 発行

月和名の由来:12月「師走(しわす)」「年末は「師」が忙しく走り回るので「師走」説が有力です。「師」は僧侶、御師(寺社で参詣者の世話をする人)、教師等色々な説が。「年が果てる」→「年果つ(としはつ)」→「しわす」説や、語源不明ですが12月の事を「しわす」と言っていて当て字を付けた説も。

シリーズ第20弾~1
口腔ケア最前線

今月から4回にわたって、岡崎市民病院外来がん治療認定薬剤師の鈴木大介先生に、お口と薬剤師の関わりについてお話をいただきます。

薬剤師と口腔ケアの関わり

岡崎市民病院外来がん治療認定薬剤師 鈴木大介先生

みなさん、はじめまして！岡崎市民病院の鈴木です。岡崎市民病院は、愛知県の西三河地区の中核機能病院であり、がん拠点病院として地域に貢献している病院です。私は、外来治療センターにてがんの患者さんに対して、薬剤支援・日常生活の支援に日々取り組んでいます。抗がん剤治療中のがん患者さんは、吐き気・しびれなどの副作用と同様に口腔粘膜障害などの副作用に苦しんでいます。

当院に外来治療センターが出来て、多がん種の治療を集約したことにより、多くの副作用の訴えに遭遇するようになりました。薬剤師になりたての頃は、「副作用のためのお薬を処方」という考えでしたが、外来治療センターが出来、チームで患者さんを見る機会が増え、日常生活に気を付けることで「副作用のためのお薬を処方」をすることなく対応できることを学びました。

一例として、口腔外科とのチーム医療の一環により、近年「周術期等口腔機能管理計画策定料」の加算が取れるようになり、がんの患者さんを口腔外科へ紹介し、口腔ケアなどを実施するケースが多くなってきました。薬局として、口腔ケアなどの継続の可否を検討する際に使用している「口内炎・味覚障害 原因 抗がん剤(表)」を作成し、診察ブースに置かせてもらい、薬剤と口腔トラブルの関係についての啓発を行っています。

次回もお楽しみに★



口内炎の原因薬剤

PMDA検索:2019.1.現在
各薬剤の添付文書

一般名	発現頻度	一般名	発現頻度
アクチノマイシン	34.7%	テムシロリムス	67.1%
アフリパルセプト	46.8%	ドキシロピシシ	アドリアシン® 22.2% ドキシル® 77.0%
アフチニブ	64.5%	イブルチニブ	5-50%
イブルチニブ	33.3%	ドセタキセル	5-50%
エベロリムス	61.0%	ブスルファン	84.0%
シクロフォスファミド	注射 63.0%	ブララトレキサート	66.7%
シロリムス	67.1%	メトトレキサート	5-50%
スニチニブ	52.7%	モガムリズマブ	多剤 40% 単剤 5%未満
ダコミチニブ	59.5%		

PMDA・医療用医薬品情報検索にて

「薬効分類:腫瘍用薬」「検索範囲:全文」「検索ワード:口内炎」の項目で薬剤を抽出「126成分」が抽出され、その中で**発生率30%以上**の薬剤を示す

口腔ケアセミナーin岡山セミナーレポート

西日本統括支店 販売企画課 山田 浩樹

10月19日(土)岡山市のコンベックス岡山 国際会議場にて、「リフレケア口腔ケアセミナーin岡山」が開催され、病院・歯科・施設等の医療関係者約150名の方にご参加頂きました。

前半は宇部リハビリテーション病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師である米村礼子先生に「慢性期における摂食嚥下障害と口腔ケア」と題して、病院で実際に口腔ケアにどのように取り組んでいるかを具体的にわかり易くご講演頂きました。使用されている口腔ケア用品のご紹介もありました。

後半は陵北病院 副院長である阪口英夫先生に、「医療療養病棟・介護医療院における口腔ケア～口腔ケアにおける口腔ケアジェルの利用法～」と題して動画を交え、わかり易くご講演頂きました。口腔ケア商品に関するコストパフォーマンスにも話が及び、節約の仕方等を具体的に示唆して頂きました。

参加者からは「確認したかったことが聞いて良かった」「口腔ケア商品の特徴についてよく理解できた」等のご意見を頂きました。



講演の様子

1月の学会情報

神奈川口腔ケア
ハンズオンセミナー
26(日)
横浜ワールドポーターズ
6階イベントホールA
(横浜市)

ふち★まめ知識

今年のタイトル下のスペースは日本古来の月ごとの呼び方「月和名」をご紹介します。小学生や中学生の頃に覚えたという方も多いかと思います。中学受験の問題にも出たことがあるそうです。「弥生ちゃん」や「皐月ちゃん」のお知り合いがいる、という方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

月和名は旧暦の季節や行事に合わせて付けられた名前のため、現在と1~2ヶ月位季節感のズレがあります。最古の記録として「日本書紀(8世紀)」にも登場しており、日本書紀では2月を「キサラギ」、3月を「ヤヨイ」4月を「ウツキ」という具合に現代と全く同じ読み方の訓注(ヨミガナ)が記されているそうです。

さて、今月で今年も終わり。年号が平成から令和に変わり、国としての色々な行事が行われたり、ラグビーワールドカップが開催されたりと盛りだくさんでした。皆様の2019年はいかがでしたか？

来年は2020年。東京オリンピック・パラリンピックが開催され、ますます日本が世界に注目をされる年ですね。

今年もリフレケアシリーズをご愛顧いただき、誠にありがとうございました♪

メリークリスマス
&
良いお年を★

For you